

大牟田市まちなか活性化プラン まちなかの主な事業

新栄町駅前地区市街地再開発事業

新栄町駅前地区市街地再開発事業の検討内容について (2026.3時点)

■事業概要

【区 域 面 積】 約2.0ヘクタール（道路・広場等を含む）

【施 設 構 成】 新駅舎、分譲マンション、健康・スポーツ棟、商業施設棟
屋根付き広場、立体駐車場など9つの施設で構成
※協議中の事業者の建物の用途等は非公表とされています。

【概算事業費】 約99億円

※財源は、保留床処分金や国・県・市の補助金等を見込まれていますが、金額は精査中です。

※他の事業等で整備する施設の事業費は含まれません。

■再開発事業イメージ図

注）建物や配置はイメージ。進捗により変わることがあります。



新栄町駅前地区市街地再開発準備組合理事会作成（2026.1時点）

再開発事業の流れ

事業計画（素案）の作成

令和8年度

事業計画（素案）の協議

令和9年度

都市計画決定の変更

事業計画（案）の作成

組合設立認可
（事業計画認可）

令和10年度

権利変換計画の認可

令和11年度

既存建物解体・建築工事の着工

注）今後の協議や進捗により変わることがあります。

老朽危険家屋除却促進寄付受け事業

●目的

まちなかエリアの空き家(老朽危険家屋)の寄付受けを行い、市が解体を行うことで、まちなかの景観及び環境の改善並びに不動産の流通・利活用の促進を行う。

●事業開始

令和7年5月1日～

●要件

【地区】

- ・まちなかの約100ヘクタールのエリア
(右上「対象地区」を参照)

【建物】

- ・木造建築物or軽量鉄骨造建築物
- ・本事業の老朽度判定の基準点数を超えるもの
- ・共有者から同意が得られること
- ・物権又は賃借権が設定されていないこと
- ・長屋の建物の共有者等から同意が得られること。

【土地】

- ・共有者から同意が得られること
- ・物権又は賃借権が設定されていないこと
- ・擁壁工事等の措置が必要でないこと
- ・維持管理に支障をきたすおそれがないこと
- ・建築基準法の道路に接していること



※画像はイメージ



●相談物件数(対象地区内の物件)

8件

●選定物件

上記の相談物件の内、以下の2件について、寄付受け、解体する物件として選定した。

①大正町1丁目(新銀座通り)

②大正町1丁目(新銀座通り)



令和8年度に所有権移転と解体に取り組みます

IT関連企業等の誘致

「若者が夢を持って働くまちづくり」の実現に向け、若い世代が求める働く場の創出および地域企業の成長やイノベーション創出につなげるため、IT関連企業等の誘致に取り組んでいます。

令和7年度から、民間事業者のノウハウも活用しながら、大牟田市イノベーション創出拠点aureaや、その周辺のまちなかの空きオフィス・空き店舗等へのIT関連企業等の更なる誘致を進めています。

大牟田 Omuta 視察ツアー
12.17 WED - 19 FRI
無料ご招待 4社限定!

ビジネスチャンスは大牟田にあり!
明治より産業都市として発展し、今もなお発展を続けています。2日3日の視察ツアーは自然と文化の魅力に触れ、地場企業との交流を通じて意欲的なビジネスを具体的にイメージできる絶好の機会です! 地方創生を視野した企業様の参加を、お待ちしております!

発展し続けるまち、大牟田市の魅力。

- 教育機関の充実**
 - 人材輩出創出
 - 教育機関との連携
 - イノベーション創出
- 空港へアクセス良好**
 - 福岡空港から大牟田市: 75分
 - 熊本空港から大牟田市: 60分
 - 佐賀空港から大牟田市: 40分
- 充実した支援制度**
 - IT関連企業専用オフィス貸付制度
 - まちづくり基金助成金
 - 税制優遇 固定資産税減免

大牟田市役所
産業振興部産業課
〒816-8501 大牟田市 西2-4-1
TEL: 0944-42-2152

みらい株式会社
熊本県大牟田市中央町13-13 3F
TEL: 0944-42-2152

ツアーへの参加には事前申込みが必要です
申込受付人数: 15名
申込期間: 11月14日(金)17:00まで
費用はすべて無料です!
申込資格: 福岡県・佐賀県・熊本県・大牟田市に拠点を置く企業・個人
申込方法: 大牟田市産業振興部産業課へお申し込みください。
申込用紙は産業振興部産業課のホームページからダウンロードいただけます。



オリエンテーション（市長から大牟田市の紹介）



aurea入居企業からの自社紹介

IT企業がまちなかに進出



WEB制作や求人支援システムの開発・運用、アプリ企画等の事業を手がけるマーケティングミックス株式会社（本社：八女市）が、熊本県北を含めた有明地域への事業エリアの拡大を図るため、大牟田駅前にオフィスを開設されました。

イノベーション推進協議会 人材育成・交流促進事業

CREATIVE STRATEGIES SESSION

“発想で終わらず 実装できる人になれ”

アート思考とデザイン思考で学ぶ、AI時代の価値創造法

AIによって社会やビジネスの環境が大きく変わる時代において、発想で終わらず
実際に社会に実装出来る人材を育てる実践型セミナーです。約5000冊の書籍を通じて
培った総合的知見をもとに、アート思考とデザイン思考を統合し、地方からでも新しい
挑戦を仕掛けるための思考と行動の設計を学びます。

講師 八木田一世

マーケティングデザインスタジオSEITE代表、北九州市立大学大学院マネジメント研究科特任教授、
食の分野を中心に、商業・観光・産業振興活性化などの領域で、事業創出の機軸からコンセプトの策
定・デザイン、運用までを総合的に設計、ビジネス・デザイン・アートの統合を統合した戦略立案
を行っている。

書籍「CREATIVE ENTREPRENEURSHIP」-自分らしい人生をデザインするための考え方-
「CREATIVE STRATEGIES」-暮らしの思考を用いた、これからの経営戦略-。

2026年 3月13日 金曜日 15:00~17:00 | 定員先着30名

こんな方に
お薦めです

経営幹部・管理者、若手リーダー、後継者、新規事業開発に携わる方、
新しいことにチャレンジしたい方

※終了後に交流会を予定しています（詳細は別途ご連絡します）

参加無料

申込方法 | 申込メチ 2026年3月6日

① こちらのQRコードから応募 | <https://logoform.jp/form/Cu6n/1423715>
② メールアドレスから応募 | e-kigyouricch01@city.omuta.fukuoka.jp
※ 定員満席になり次第、申込期限前に切となることもあります。ご了承ください。

＜会場＞大牟田市イノベーション創出拠点 aurea 1階イベントスペース
福岡県大牟田市有明町1丁目1-22

② 駐車場に限りがあります。近隣のコインパーキングをご利用になるか、公共交通機関で来場ください

【主催・お問合せ】大牟田市イノベーション推進協議会事務局（大牟田市産業振興課・大牟田商工会議所）
TEL：0944-41-2752 / E-mail：e-kigyouricch01@city.omuta.fukuoka.jp



地域経済分析システムRESAS データ活用実践講座

地域経済に関する
官民のビッグ
データを誰でも、
無料で、簡単
に、スマート
フォンで見える化
できます！！

日時 2025年
8月27日(水)15:30~17:00

会場 大牟田商工会館 3階ホール
(大牟田市有明町1丁目4-2)

講師 経済産業省 中小企業庁
事業環境部 調査室 室長補佐
田中 幸仁氏〔統計調査士〕

対象 中小企業の経営者・従業員 他
地方自治体職員

形式 対面/リモート
(後日、アドレスを送付します)

参加費 無料

講座終了後、講師を交えた交流会を開催！
会場、参加料金については現在調整中です。
なお、会場等の情報については、決まり次第、申込済
の方に個別にご連絡するほか、申込フォームに開示し
ます。多数のご参加をお待ちしております！

【新メニュー／観光マップ・観光地分析】
1) 全国12万件の観光資源データ（アイコン）
2) 全国750万事業所の立地データ（アイコン）
3) 属性情報を含む簿籍人口データ（メッシュ）
を活用した観光関連データを地図上で同時に
見える化します。

【プログラム】
1. RESAS新システムの概要
2. 新システムを活用した地域の
ビジネス環境分析講座
(詳細は要)

〔スマートフォンを御用意ください〕

主催：大牟田市イノベーション推進協議会 共催：有明広域産業技術振興会
問合せ：大牟田市産業経済部産業振興課
TEL:0944-41-2752 E: e-kigyouricch01@city.omuta.fukuoka.jp

申し込みはこちら
期限：8/22まで



OIC
OMURA INNOVATION CENTER

地域で始める、 新しいビジネス

参加無料
参加対象者は
市内外問わず

大牟田創生塾
拡げて、見て、五感で触れて、役割を決めて、
まちに貢献して
地域で始める

会場 大牟田市イノベーション創出拠点 aurea
1階イベントスペース 大牟田市有明町1丁目1-22

※ 参加費には限りがあります。会場へお越しの際は、
必ず交通機関の利用をお願いします。

主催・お問合せ | 大牟田市イノベーション推進協議会事務局（大牟田市産業振興課・大牟田商工会議所）
TEL:0944-41-2752 E: e-kigyouricch01@city.omuta.fukuoka.jp

企画・運営 | 一般社団法人オムラ・イノベーション・センター



イノベーションを生み出すための人材育成や、新しいことにチャレンジする機運醸成のための交流事業を実施しています。

イノベーション創出促進事業

イノベーション創出促進事業

デジタル人材育成事業

将来を担うデジタル人材育成につなげることを目的として、市内の小中学生を対象としたデジタル技術に触れる体験講座を実施

■「わくわくプログラミング教室」 (R8.1.31実施)

アウレア入居企業である(株)シティアスコムと連携し、ロボットカーを使ったプログラミング教室を開催し、小中学生36人が参加。



■ヘッドフォンアンプ製作体験 (R8.2.21実施)

有明高専・(株)ASKプロジェクトと連携し、はんだごてを使ったヘッドフォンアンプの組み立てを行い、高音質のオーディオIC「MUSE」との音の違いを体験。小中高生16名が参加。



大牟田市ビジネスサポートセンター

令和6年4月、中小企業が抱える様々な課題に対して、大牟田市、大牟田商工会議所、大牟田柳川信用金庫、有明工業高等専門学校、大牟田未来共創センターが連携し、相談・支援を行うワンストップ産業支援窓口「大牟田市ビジネスサポートセンター」を開設しました。

経営改善、生産性向上、事業承継、販路開拓、新規創業、IT・DXなどの課題について、各種支援機関とも連携し、継続的に支援をしていきます。

01

ワンストップで
さまざまな
課題に対応

02

専門的な課題は
外部機関と
連携して対応

03

課題の解決まで
一貫して
丁寧に支援



イノベーション創出拠点aurea1階に開設

支 援 体 制

- ・センター長（産業支援コーディネーター）
- ・産学連携コーディネーター
- ・DXアドバイザー
- ・大牟田柳川信用金庫 職員
- ・大牟田商工会議所 職員
- ・大牟田市 職員

連 携



連 携 支 援 機 関

- ・福岡県工業技術センター
- ・公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
- ・公益財団法人福岡県中小企業振興センター
- ・福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター
- ・福岡県事業承継・引継ぎ支援センター
- ・福岡県プロフェッショナル人材センター
- ・中小企業基盤整備機構
- ・福岡県信用保証協会 など

平日 9:00~17:00（土・日・祝日・年末年始休）

相談無料、1回60分程度

※時間外の相談を希望される場合はご相談ください



公式HP

イノベーション創出促進事業

大牟田市ビジネスサポートセンター

～主な取組～

●相談対応と主な実績について

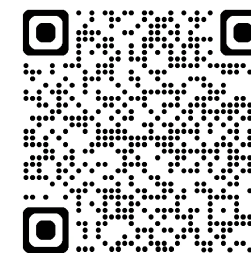
相談対応件数	主な相談内容	主な実績
269件	生産性向上、事業承継、販路開拓、技術支援、補助金活用 等	専門家活用支援、補助金申請支援、IT活用支援、経営改善支援 事業承継支援 等

●セミナー・イベント等

内 容	連携支援機関	参加者数
「IT導入セミナー」(8月)	株式会社ALL	8事業者 10名参加 個別相談3事業所
「決算書苦手克服セミナー」(9月)	福岡県よろず支援拠点	19事業所 27名参加
「価格転嫁のすすめセミナー」(10月)	福岡県よろず支援拠点、公正取引委員会	13事業者 20名参加
「外国人材雇用ノウハウセミナー」(11月)	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	32事業者 52名参加
「これからはじめる脱炭素セミナー」(12月)	信金中央金庫、一般財団法人省エネルギーセンター	13事業者 15名参加
「事業承継相談会」(2月)	福岡県事業承継・引継ぎ支援センター	個別相談6事業所 7名参加

セミナーの様子





わかもの会議 シーズン2・全体会議

若者が主体的に、次世代の人材育成と新規メンバーの獲得を目的として、「シーズン2」と題して、新たなメンバーを募集するとともに、7月から翌2月のアクションプラン発表会に向けて、毎月1回のワークショップを実施されました。

シーズン2の取組み (全8回開催)

- 第1回 7月5日 参加人数(メンバーのみ):32名
「キックオフミーティング「仲間と出会う」」
- 第2回 8月23日 参加人数(メンバーのみ):10名
「まちを知る」
- 第3回 9月20日 参加人数(メンバーのみ):14名
「企画の立て方」
- 第4回 10月26日 参加人数(メンバーのみ):11名
「企画を磨く」
- 第5回 11月15日 参加人数(メンバーのみ):7名
「チーム作り～中間発表～」
- 第6回 12月20日 参加人数(メンバーのみ):8名
「情報発信を学ぶ～情報を届ける～」
- 第7回 1月17日 参加人数(メンバーのみ):10名
「伝わるプレゼンを学ぶ」
- 第8回 2月21日 参加人数(メンバーのみ):14名
◇「アクションプラン発表会～想いをカタチに～」

全体会議 (全5回開催)

- 4月19日
「わかもの会議令和7年度の活動について」
- 5月17日
「令和7年度アクションプラン発表」
- 6月21日
「キックオフミーティングについて」
- 10月26日
「組織運営について」
- 3月22日
「今年度の振り返り」



アクションプラン
発表会
—想いをカタチに—

参加者:64名
若者が発表した企画:
9件

わかもの会議プロジェクト

アクションプラン発表会で発表された企画

詳細▶
(市のホームページ)



	企画名	内容
1	あつまれ!おおむたのよる	忙しい日々の終わりに、ふと立ち寄れる“よりどころ”を作りたい (交流の場づくり)
2	コネクトハウス～紬の家～	子ども達が気軽に集い、人と関わるができるサードプレイス を作りたい(子どもと地域をつなぐ第3の居場所づくり)
3	大牟田リベンチャーズ～西口に休憩革命を！～	大牟田駅西口駅前広場のベンチをみんなで新しく綺麗にしたい (駅前ベンチづくりを通じた参加型のまちづくり)
4	日曜大工部	大牟田のBASEを作るDIYで、大牟田の魅力を発信したい (DIYを通じた交流拠点づくり)
5	Shutter the movie	好きな映画を好きな人と、好きな時間に、SNSで映える夜の思い出 を作りたい(空き店舗を活用した個室シネマによる夜の居場所 づくり)
6	合同文化祭【むたわかふえすた(仮)】	高校生の秘めた力を発揮できる、そんな文化祭を開催したい (高校の垣根を超えた若者主体の文化祭)
7	レトロ電車ミュージアム	大牟田駅結節機能強化計画に向けた小さな歩貨物線跡地の利用 とJR・西鉄の乗換利便性の向上を実現したい (貨物線跡地を活用した観光・交流機会づくり)
8	街ガチャin大牟田	大牟田の魅力が手の平サイズに？！大牟田名産等をガチャガチャ にして、市内外の方に楽しんでもらいたい！ (名産品をカプセルトイ化した体験型プロモーション)
9	オオムタ宣伝隊	大牟田を全国・全世界に発信！大牟田の新名物を作りたい！ たくさんの方が集まるイベントを実施したい！ (若者主体の地域PR・イベント企画)

若者発！つながるまちなかづくり事業

わかもの会議プロジェクト

◆マルミュータワールド ハロウィンパーティー

「まち、いこ！ Gyanフェス2025」のブースの一つとして、大牟田駅東口シティコートにて、ハロウィンのイベントを開催。

学生が地元企業との連携して企画やオリジナルアトラクションを実施し、延べ1,000人が来場するなど、まちなかの賑わい創出に寄与した。



◆HONG-KANGクリスマスパーティー 2025

オームタ☆イルミネーションとコラボ企画。
飲食、ステージイベント、焚火、イルミネーション等で、
来場者がゆったりと過ごせる空間を創出。

【日時】 12月5日(金)

【場所】 大牟田市役所本館前広場

【来場者】750人



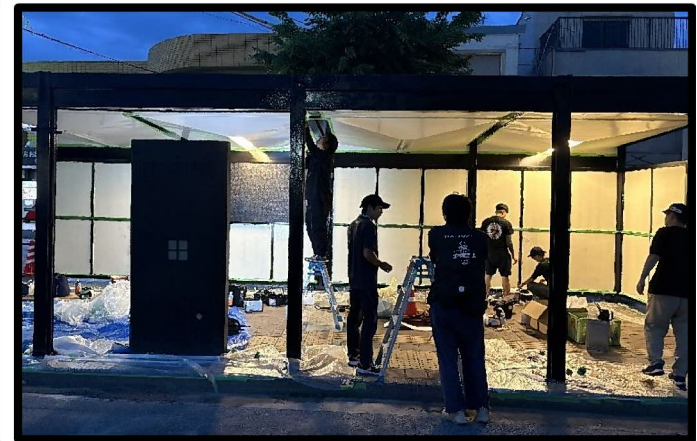
わかもの会議プロジェクト

直近の「大牟田わかもの会議」の活動のご紹介

駅前整頓 ～大牟田駅東口バス停リノベーション～

5月23日～5月24日、約10人程の若者達が大牟田駅東口バス停のリノベーションを行いました。清掃や塗装、新しいベンチの設置などを実施し、利用しやすい空間へと生まれ変わりました。

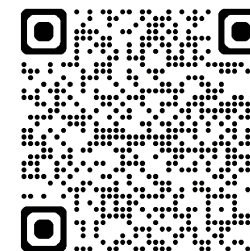
作業中



＼完成／



若者発！つながるまちなかづくり事業



◆Re-Life

【活動目的】

- ・DIYを通じたコミュニティの創出
- ・中心市街地の活性化

【R7年度活動実績】

- ・ワークショップの開催

6月28日

参加者:12名

7月12日

参加者:9名

◆みんなのえきまえプロジェクト

みんなが利用する駅前を綺麗に整えることで、ポイ捨てやイタズラをしにくい環境づくりに取り組みました。

【企画】 緑を整えよう！！
(除草・剪定作業)

【R7年度活動実績】

① 5月31日 ②11月29日

【場所】 大牟田駅西口駅前広場

◆わかモル会議

【活動目的】

モルックを通じた交流・賑わいの創出

【R7年度活動実績】

親睦会の実施、帝京祭や市庁舎オープンデーにてモルック体験会の実施、定例の練習や試合の参加など。

◆アソビバえるる

街なかさわやかフェスタにおいて、子どもや保護者のまちなかの居場所づくりのお試し企画として実施。

【来場者】322人

◆市庁舎オープンデー

市庁舎オープンデーにおいて、モルック体験及び「SHOP WAKAMONO」ブースで、市内業者のスイーツ等を委託販売。

来場者同士の交流やにぎわいづくり、地域とのつながりにつながった。

【来場者】80人

おおむたまちなか新聞

号数 (発行月)	表面(まちなか店主)	裏面(まちなか情報)
第35号 (R7.6)	「H&S academy(エイチアンドエスアカデミー) 英語教室」 原田 里美(はらだ さとみ)さん	第63回おおむた「大蛇山」まつり開催など
第36号 (R7.8)	「和食restaurant maeda(レストランマエダ)」 前田 洋孝(まえだ ひろたか)さん	オオムタアツシの青春公開日決定など
第37号 (R7.10)	「BENESU(ベネシュ)大牟田新栄町店」:足と靴の専門店 黒田 裕佳(くろだ ゆか)さん	100円玉笑店街など
第38号 (R7.12)	「Zero to One(ゼロトゥワン)格闘技ジム」 中島 彬貴(なかしま ひでたか)さん	第6回おおむたまちゼミなど
第39号 (R8.2)	「話咲屋(はなさくや)」:カード占い・お仕事カウンセラー 原田 侑子(はらだ ゆうこ)さん 「さいほうや-彩縫屋-」:雑貨・着物リメイク 塩塚 彩香(しおつか あやか)さん	街なかさわやかフェスタvol.8など
第40号 (R8.4)	「aurea café(アウレア カフェ)」 小山田 啓子(おやまだ けいこ)さん	大牟田わかもの会議「アクションプラン発表会」など



●年6回発行
(6, 8, 10, 12, 2, 4月号)

●4,000部配布
(中心市街地エリアマンション、ゆめタウン、イオン、金融機関、郵便局、文化会館など)

官民連携まちなか再生推進事業

●取組みの背景

居住者等の減少や空き家等の低未利用地が発生するなど活力が低下する一方、鉄道駅や市役所、金融機関など多様な都市機能・インフラが集積し、人が集まるポテンシャルがあるまちなかエリアについて、**ハード・ソフト両面から、まちなか再生でまち全体の価値を高める**取組を行う。

●未来ビジョン策定

令和6年3月に大牟田まちなか再生推進エリアプラットフォームにおいて、「大牟田まちなか再生未来ビジョン」が策定され、4月には市、商工会議所、市議会へ提言された。



●UDC設立

令和6年11月26日、未来ビジョンを実現するために、事業推進組織(一社)アーバンデザインセンターおおむた(UDCおおむた)を設立。

まちなか活性化に向けた様々な事業に公・民・学が連携して取組んでいく。



●UDCのR7年度の主な事業

- ・有明高専との連携による空き家・空地を活用したまちづくり事業として、学生や民間プレーヤー等により、旧旅館をゲストハウスとしてリノベーションする取組を実施。
- ・大牟田駅東口にあるカタルバオセロにて「TAKIBEE(タキビー)」を開催(12～3月までに4回)。



官民連携まちなか再生推進事業

●UDCのR8年度の事業

令和8年5月27日開催のUDC社員総会において、令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画の報告が行われた。令和8年度は、これまでの取組を踏まえ、「学び・提案＝PLAN」「実践・事業化＝DO」「人材や組織をつなぐ＝PLATFORM」の3つの考え方を柱として、まちなか再生に向けたプロジェクトの検討と実践、そして、組織運営の基盤づくりや仲間づくりにより、まちなか再生未来ビジョンの実現に向けた取組を推進する。

1. PLAN

市の都市再生整備計画の策定にあわせ、UDCにおいても、市や商工会議所と連携し、事業者や商店街等との意見交換により地域のニーズを把握しながら、官民あるいは民間同士で連携して取り組むべき具体的な事業の洗い出しを行った上で取りまとめを行い、同計画への提案等を行う。

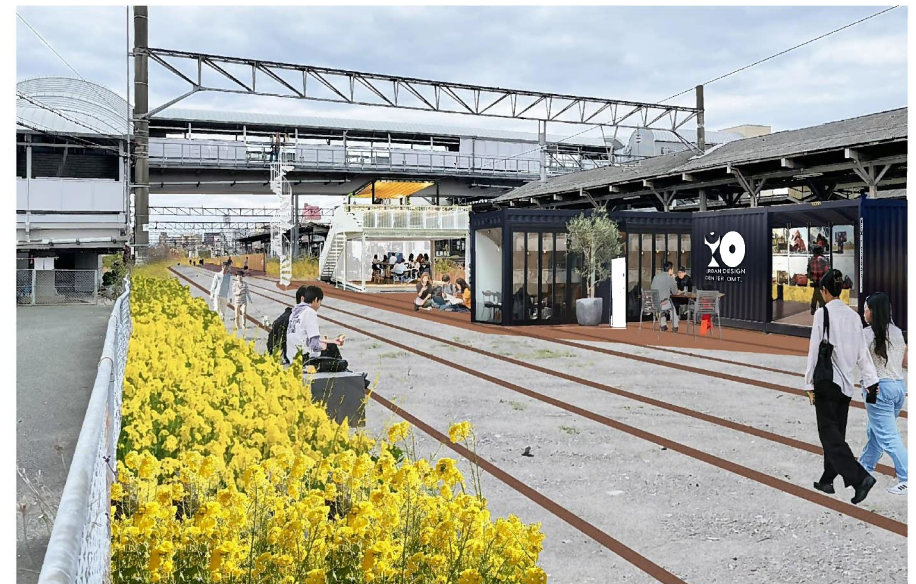
2. DO

具体的な事業として、以下の2つを推進する。

- ①大牟田駅周辺エリア事業(JR貨物線路跡地利活用)
- ②組織の公的位置づけの強化(都市再生推進法人の指定)

3. PLATFORM

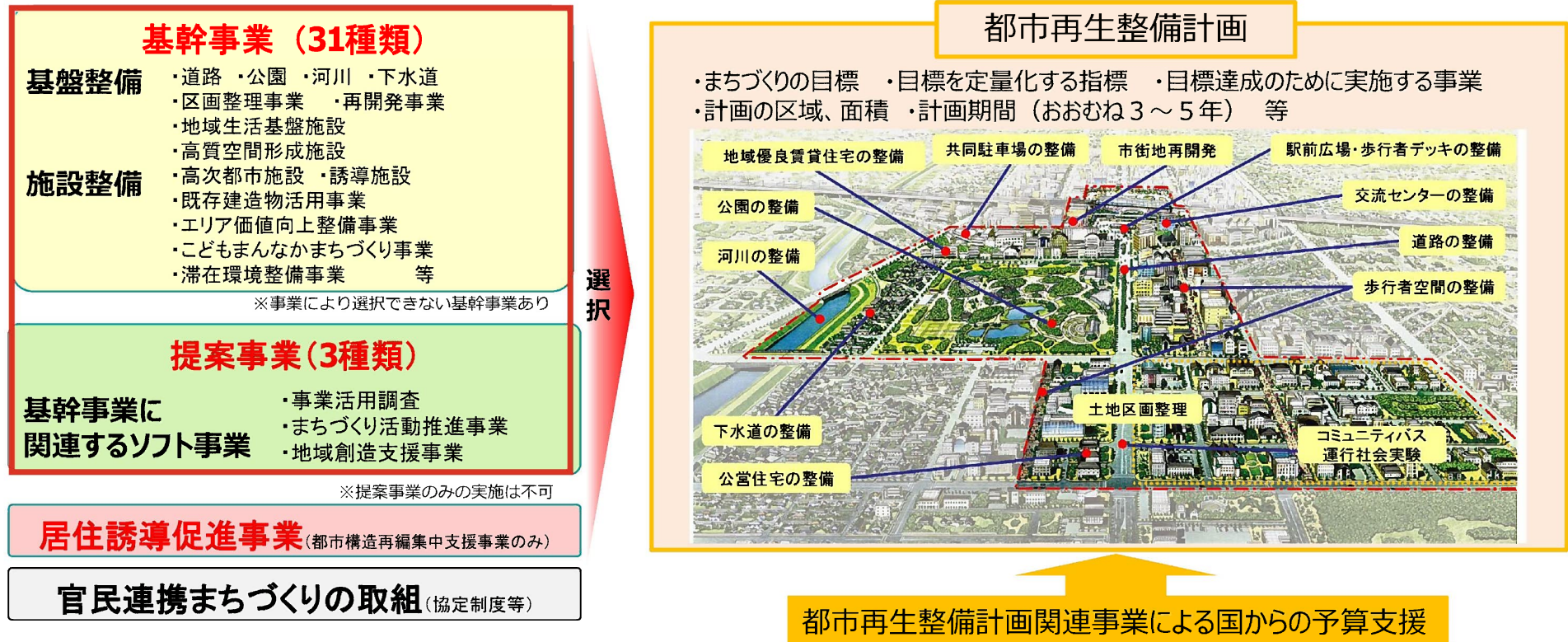
「未来ビジョンの実現に向けて関係者連携をけん引するプラットフォーム」としての機能の拡充に向け、地域内外の人々がまちづくりに主体的に関わることができる仕組みづくりや場づくりを行い、公・民・学でともに実践する仲間づくりを進める。



【大牟田駅西口の活用イメージ】

都市再生整備計画の策定 ～集中的・効果的なまちなか再生に向けて～

○都市再生整備計画は、都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域を対象として、市町村が作成することができる。



都市再生整備計画に基づき実施するまちづくりのイメージ

- | | | |
|------------------|------------------|-----------------------|
| ・にぎわいと活力のあるまちづくり | ・産業振興によるまちづくり | ・官民連携のまちづくり |
| ・ウォーカブルなまちづくり | ・災害に対して強靱なまちづくり | ・先進的技術を活用したまちづくり |
| ・少子高齢化に対応したまちづくり | ・公共交通を活かしたまちづくり | ・既存ストックを活用したまちづくり |
| ・観光資源を活かしたまちづくり | ・健康・医療・福祉のまちづくり | ・身近なエリアの価値向上に資するまちづくり |
| ・環境に配慮したまちづくり | ・歴史・文化に配慮したまちづくり | ・エリアマネジメントによるまちづくり 等 |

※国土交通省の資料より抜粋

都市再生整備計画計画の策定（令和8年度の取組）

都市再生整備計画の策定 ～集中的・効果的なまちなか再生に向けて～

①都市再生整備計画策定の目的

- ・都市再生整備計画は、都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要なハード・ソフト事業等を重点的に実施すべき区域を対象として市町村が策定するものであり、都市構造再編集中支援事業等の国費を活用するために策定が必要となるもの。
- ・本市においても、まちなかの再生・活性化に資する事業への国費の活用を図り、集中的かつ効果的に都市の再生を進めるため、計画の策定を行う。

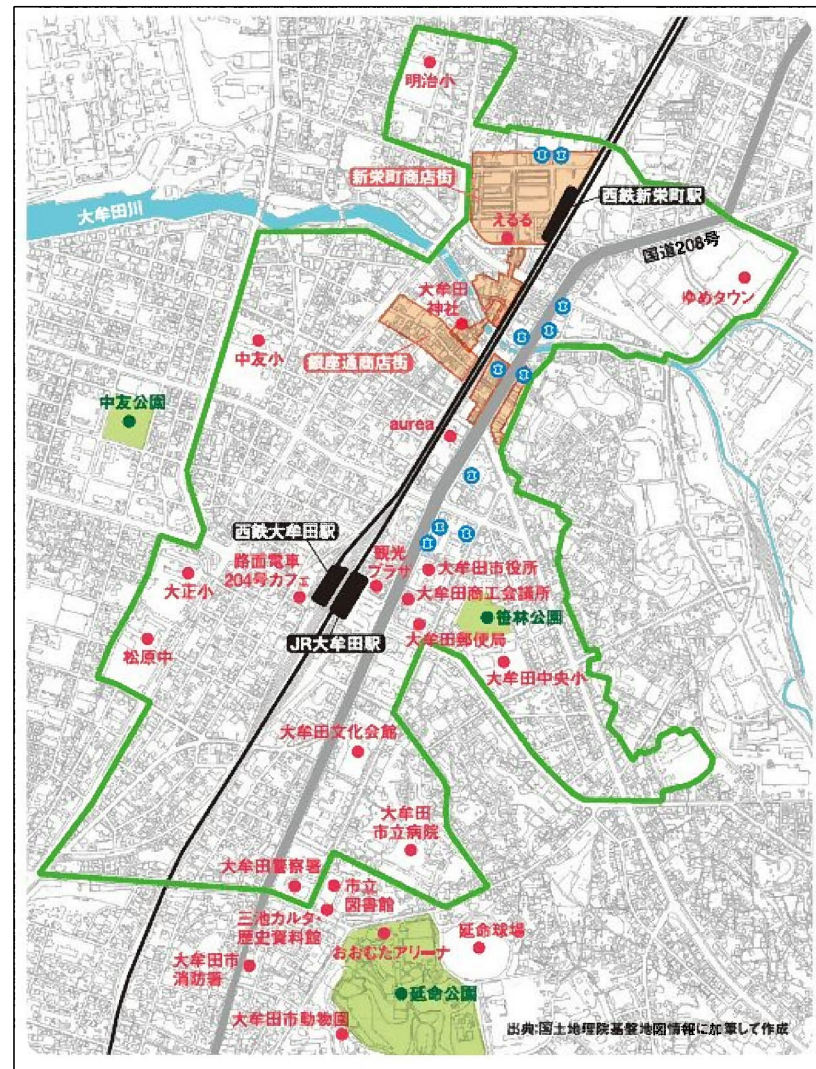
②計画の検討エリアについて

- ・都市再生整備計画は、区域要件として立地適正化計画の都市機能誘導区域とされている。
- ・このため、計画の検討エリアは、右図の都市機能誘導区域(都市拠点)とした。

※計画に掲げる事業の状況等により、計画のエリアは狭くなる可能性がある。

③計画承認及び事業実施のスケジュールについて

- ・令和8年度・市による計画案の策定
- ・令和9年度・国による計画の承認
- ・令和10年度～14年度(5か年間)・計画に掲げる事業の実施



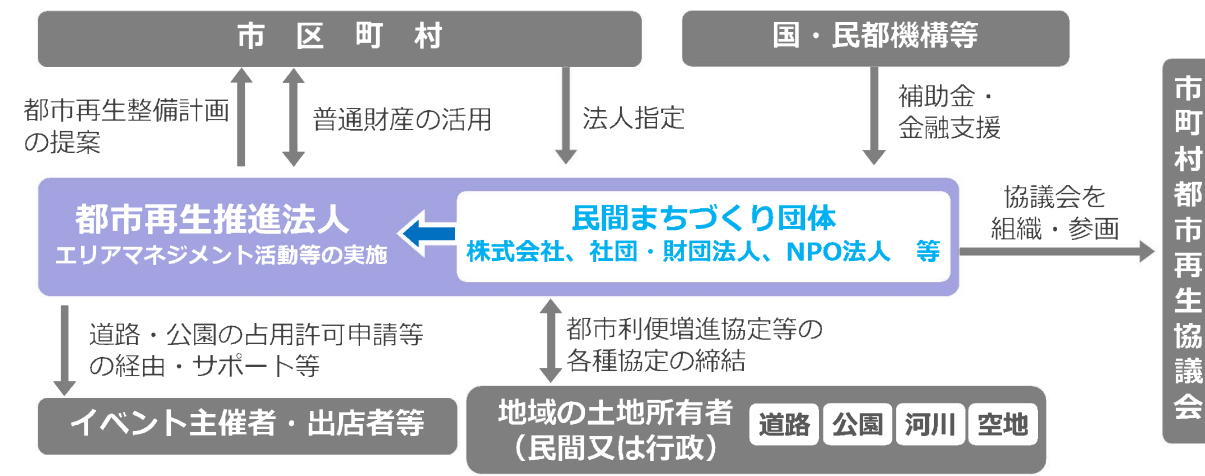
凡例: :立地適正化計画の都市機能誘導区域(都市拠点)

都市再生推進法人の指定 ～官民連携によるまちづくりの推進に向けて～

■都市再生推進法人とは・・・

- ・都市再生推進法人とは、都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として、市町村が指定する団体。
- ・指定により公的位置づけを付与することで、官民が連携しエリアマネジメント(公共空間の整備や管理、低未利用地の利活用促進、都市再生整備計画への提案、情報発信、イベントの実施など)を行うことが期待されている。
- ・推進法人になれる法人は、法律により
①社団法人②財団法人③NPO法人④まちづくり会社とされている。
- ・本市においても、まちなかの再生・活性化を官民の連携により、早急かつ着実に行うため、法人の公募・指定を進めるもの。

●都市再生推進法人の関係フロー



●都市再生推進法人になれる法人

- ・まちづくり会社
- ・NPO法人
- ・一般社団法人（公益社団法人を含む）
- ・一般財団法人（公益財団法人を含む）

●都市再生推進法人の主な業務

- ・まちなかの賑わいや交流創出のための施設整備や管理運営
- ・公共空間の更なる利活用、まちの魅力向上
- ・まちづくりの専門家派遣、情報提供 等

※国土交通省の資料より抜粋

■法人指定スケジュール

- ・ 5月15日～……………法人公募の事前周知、事前相談受付の開始
- ・ 6月15日～ 7月31日…法人の公募、申請の受付開始
- ・ 8月中……………法人の指定(これ以降は随時募集)

※現在、UDCおおむたが都市再生推進法人の指定を目指されている。

